



しょうわ 広報

No. 54

昭和 55 年 5 月 1 日 発行 役場総務課 編集



火災放射機で殺貝作業を実施する機動班員（西条新田地内）

地方病の完全撲滅を目指し

殺貝作業を実施

戦前は地方病の有病地として患者も相当数に及んだ本町ですが、ここ数十年來、区民のみならずの努力や溝きよ改良事業の実施に伴い、新生患者がほとんど発生しないようになっていきました。しかし、地方病を感染させるセルカリアは、宮入員に宿り現在も荒地やセギなどにせい息しているのが確認されています。六十年完全撲滅を目指し、今年度は十五名の殺貝機動班を委嘱し、せい息調査をもとに先頃殺貝作業が実施されました。なお、宮入員を発見したならば直ちに保健課へ連絡して下さい。

町の人口

4月1日現在

男 4.152 人

女 4.228 人

計 8.380 人

世帯数 2.235 戸

予算額十二億二、八七二万円

経費節減を図り 風格ある町づくりを

三月十二日から十四日間にわたって開催された三月定例会は、十二億二千八百七十一万円にのぼる新年度一般会計予算をはじめ、二つの特別会計予算など二十議案が慎重に審議され、いずれも原案どおり可決されました。そこで可決された新年度予算を紹介しましょう。

庁舎建設費の当初予算計上による 昨年比 31.8%増

石油ショック以来の低成長、減量経済時代を迎えたわが国、この石油がエネルギー問題として新たな問題と投げかけ、これからの経済動向の見通しに更に厳しさと予断を許さない社会情勢を迎えています。

石油ショック以来、億二千八百七十一万円昨年当初より三十一・七六%の増となりますが、これは昨年度からの継続事業の庁舎建設工事費の予算化によるものです。昨年は当初予算で庁舎建設費を計上しておらず、補正を組んで工事に入っている関係から、今年度工事関係予算二億一千四百九十九万円を当初に計上したのが、大幅増の原因となっています。

国においては昨年度より二・三%、地方では七・三%と、近年にない予算の低い伸び率となっております。

このような状況下において今年の本町の予算も、行政の効率化、簡素化を進め、経費の節減を図り有効な行政促進を念頭に編成されました。

本年度一般会計予算は、十二

一般計 一會





●歳入 順調に伸びる町税一九・二%増 依存率の高い歳入状況

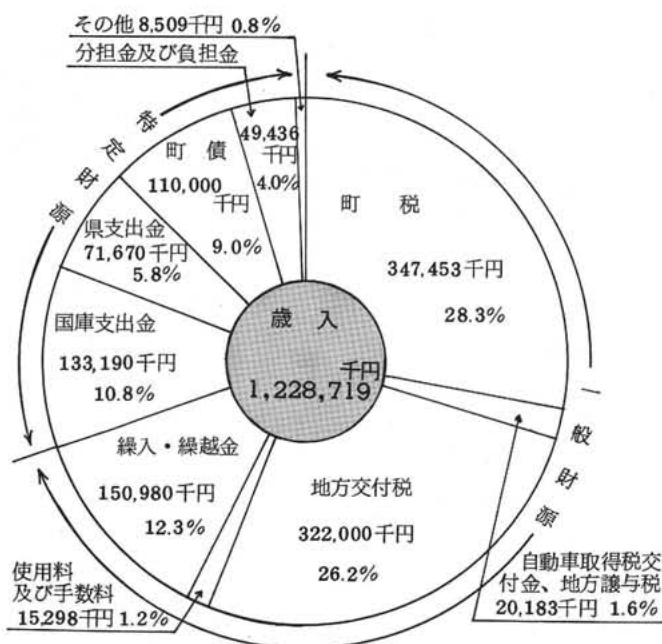
今年の予算の歳入は、グラフを参照していただければわかるように、歳入に占める割合が、町税、地方交付税、繰入金、国庫支出金、町債、県支出金の順となっております。

まず、二八・三%に及ぶ主要な自主財源の町税ですが、昨年度当初より五千五百八十九万円増の三億四千七百五十三万円を見込んでいます。

その内訳は、町民税一億四千

町民1人が負担する町税 (総額 41,462円)

			
固定資産税 18,920円	町民税 17,391円	町たばこ消費税 2,494円	電気税 1,896円



五百七十四万円、固定一億五千八百五十五万円、軽自動車四百五十七万円、たばこ二千八十九万円、電気一千五百八十八万円、土地保有税百八十八万円となります。この町税を町民一人当りにしますと四万一千三百二十円、一世帯当り十五万五千三百二十円納めていただく計算になります。しかし、この町税だけでは財政運営はなりたたず、七割近くが国、県の補助金、町債などに依存しております。

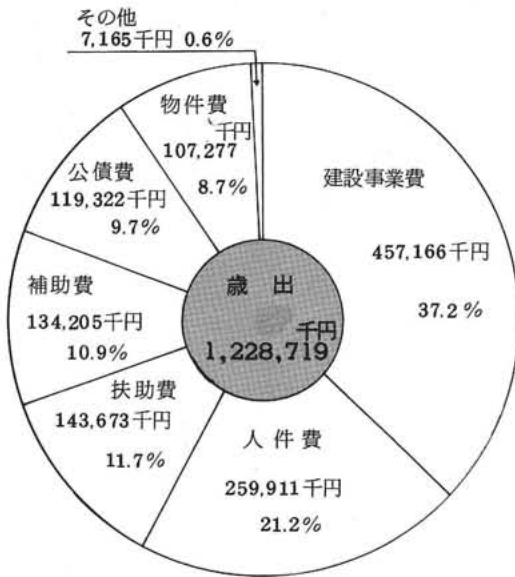
地方交付税においては、大きな伸びが見込めませんので三億

二千二百万円。また、いろいろな事業を実施するため必要とする財源として借入れられる町債は、三千六百九十万円増の一億一千万円。繰入金は、庁舎建設の事業費にあてるため積立金一億四千五百九十八万円を計上しています。

以上の概略説明でもわかるように、本町の財政運営もごたぶんにもれず、ほとんどを依存財源にたよらなければならぬ苦しい台所状況となっております。

● 歳出

近代的庁舎もうすぐ完成
福祉の充実と都市づくりを主に



本年度主な事業は、まず第一に昨年度からの継続事業庁舎建設があげられます。倉庫、車庫などの付属関連建物、今年度分庁舎建設、備品購入費等に二億円余りの予算を計上しており、六月末完成する予定です。

福祉関係で目新しい事業は、老人医療費の適用を七十歳から六十八歳に引き下げ、身体に障害のある方々には等級に応じて給付金を支給するなど、なおいっそうの福祉充実を図ります。

また、大規模地震に備え避難場所の標木板を町内三十九か所に設置、各地区一台ずつ自家発電機の取り付け、小型ポンプの買い換え、医療セットなどを購入し緊急時に備えます。

来年は町制施行十周年を迎えるため、この記念事業を盛大に開催させる準備として予算を計上しており、今年度は町民憲章と町歌を広く一般から募集したり、町史の編さん準備に入ります。

この他、都市基盤の確立を図るべく継続事業としては、昨年引続き、築地新居、河東中島二地区百七十軒の地籍調査を実施する他、押越地区で区画整理事業が話題にあがっているためこの事業を推進させるよう調査費用を計上しています。

道路網整備も産業発展のためにはどうしても必要な事業です。清水三号線、道川、町道一号線など九路線にわたり、改良、舗装、側溝改修工事を実施します。

本町の主産業である農業においても、安心な農業経営ができるよう、中島は場整備地内水路改修、農道千八百軒の舗装工事を実施するとともに、三月に完成した里辛収出荷場を活用し、水田利用再編対策の一環として新産地野菜育成事業の推進を図ります。

また、毎年継続して建設している町営住宅ですが、今年度は一種住宅一棟八戸建を二棟建設していきます。完成は来春となります。

以上おおきなものだけ取り上げて見ましたが、その他にも住みよい町づくりを目指し、きめこまかな施策が組み込まれています。

町民 1 人 当 り の 支 出 (総額 146,625 円)

					
土木費 22,858 円	総務費 42,317 円	民生費 20,107 円	衛生費 13,913 円	教育費 12,725 円	農林水産業費 9,233 円

国保 総額二億四千万円 人間ドックで費用削減を図る

今年度国民健康保険特別会計予算は、総額二億四千三百七十四万円となります。

このうち、歳入の五十五％にあたる一億三千五百四十万円は、国、県からの負担金、補助金で交付されますが、残りは国保税で負担しなければなりません。

今年度国保税は一億二百八十一万円。被保険者一人当たり二万七千五百三十三円、一世帯当たり八万八千二百四十六円負担していただくこととなります。

昨年は、療養給付費二万一千二百十件で一億九千六百万円を支出している関係から、今年も大幅な増加が予想されます。この給付費削減を図るため、今年度は四十歳～四十五歳の希望者五十名を対象に、総合健康診断(人間ドック)を実施し、成人病予防に努めます。

年々、医療費は増加の一途をたどり、被保険者の負担も比例して増えてきていますが、国保税は、みなさんが医者にかかる医療費を基準にして算出されます。むやみに医者のはしごをしたり、時間外にはなるべくかからないようお互いに気をつけましょう。

少年補導員さんが 愛のパトロールを実施

青少年補導員並びに関係者の方々は、従来から時おり町内を巡回し少年の非行防止に努めています。

つい先頃、町内各所の神社、空家、道橋下、駅付近等をくまなく巡回したところ、盗難車が放置されていたり、トルエン遊びをしたビニール袋が捨ててあるのを発見したり、隠れて喫煙した者がマッチ箱をおきざりにしたりしているなど、火災予防上からも危険な状況であることが確認されました。

そこで、今後は町内パトロー

ルを隔月に実施して、非行防止に対する情報交換や検討を加え、より青少年の非行防止にあたることを計画しています。

町内パトロール実施者は次の方々ですが、日頃、地域のみならずが青少年の行動に異状を認めたときは、直ちに中央公民館内青少年対策本部か、各地区補導員までご一報下さい。

- 岩波政雄 (河 西)
- 清水 裕 (押 越)
- 秋山俊明 (西条二区)
- 笹本照男 (清水新居)

土地の譲渡所得に係る 特例の改正

長期譲渡所得の特例については、五十五年一月の譲渡より、比例税率(所得税二十%、町民税四%、県民税二%、合せて二十六%)が適用される特別控除後の譲渡益の部分の金額を四千万円(現行二千万円)とし、特別控除後の譲渡益四千万円を超える部分は、譲渡益

四千万円を超え八千万円までの部分の二分の一(現行四分の三)と、譲渡益八千万円を超える部分の四分の三との合計額を、総合課税した場合の上積み税額により課税することになりました。

- 区 長 石川芳文
- 区長代理 秋山高儀
- 土木委員 深沢 亮
- 衛生委員 笹本孝夫
- 衛生委員 渡辺一豊
- 河東中島
- 区 長 長沢文雄
- 区長代理 佐野武夫
- 土木委員 鷹野平泰
- 衛生委員 山下孝弘
- 築地新居
- 区 長 水上智雄
- 区長代理 磯部九雄

区の常設役員等の 選任及び変更

四月一日付で一部の区において常設役員等が、次のとおり選任または変更されました。

- 西条一区
 - 区 長 志村脩直
 - 区長代理 中込孝一
 - 土木委員 佐野精一
 - 衛生委員 角野幹男
 - 清水新居
- 近藤 巖
- 松土仁郎
- 竹中正裕
- 伊藤久士
- 北原純二
- 早川美都雄
- 近藤 勉
- 塩沢 力
- 中村文哉

青少年育成推進員 四月一日付で委嘱

地域にあって関係機関や団体等と緊密な連携を保ちながら、常に育成会長と連絡協調をはかり青少年育成会の活動を促進し、部落内での諸問題を青少年育成カウンセラーに持ち込み、事の解決にあたるとともに、育成会の中核となつて活動することが期待されます。

- 名執保義 (西条一区)
- 清水 巖 (西条二区)
- 飯島朝周 (清水新居)
- 堀内政弘 (西条新田)
- 花形武彦 (押 越)
- 鷹野庄吾 (河東中島)
- 福井尊正 (紙漕阿原)
- 磯部貞治 (築地新居)
- 磯部貞重 (飯 喰)
- 清水行広 (河 西)
- 長倉 肇 (上河東)

行政相談日
五月六日・十九日
午後 一時～四時
公民館相談室

六月末で締切 国民年金 特別納付

年金権をとり戻す最後のチャンス

いま、実施されている国民年金の特例納付の締切りが六月末日に迫りました。

この制度は、国民年金に加入しなければならぬのに、一時の思い違いや、忙しさにまぎれたり、経済上の理由などから、国民年金にまだ加入していないか、保険料を滞納して年金権を失っている人などについて、未納期間分を払い込めば年金権が

与えられるもので、今回が最後のチャンスです。

保険料は、未納期間一カ月に分けて払い込めばよく、分納もできます。

なお、明治四十四年四月一日以前に生まれた人や、サラリーマンの奥さんなど任意加入の人、この特例納付はできません。くわしくは、福祉課年金係へおたずね下さい。



福祉まつり開会式
町民体育館にて

人と人とのつながりを深め 盛況だった福祉まつり

町社会福祉協議会、昭和町主催の福祉まつりが、去る三月三十日町民体育館を主会場に開催されました。心の交流、人と人とのつながりの福祉を求め今年初めて企画されたもので、会場は三百五十名からの参加者でにぎわいました。

中央公民館の会場には、生花、絵画、短歌、俳句、書道などの作品が展示され、一方主会場の体育館では、映画、民舞踊、詩吟、コーラス、また県奇術クラブの方々による手品などが行われました。この他、特設コーナーも設けられ、県立希望の家、青い鳥福祉センターの生徒が丹精こめて作った作品の即売会、愛育会の人たちによるバザー、栄養改善推進員によるおでん、あま酒の無料コーナーなどが出店し、参加者は楽しい一日を過ごしました。

ご協力ありがとうございました

社会福祉協議会長 石原忠則

「うるおいの心で結ぶ人と人」「ほほえみを分けて歩こうこの足で」をスローガンに、町をあげて初の「福祉まつり」を開催し、たくさんの方の期待をお招きいただきました。

みなさんいかがでしたか!。やさしい心のこもった接待を受持つていただいた婦人会の方々、とても安い遊休品のバザーを催していただいた愛育会のみなさん、そして楽しい芸能発表を担当していただきました文化部のみなさん、なお目に見えないところで支えになっていただいた女性ドライバー、及び安協の方々、前日より一生けんめいに準備万端整えていただきました実行委員のみなさん、お陰さまでなかやかで盛況な福祉まつりが無事終了することができました。ほんとうにありがとうございました。心より感謝申し上げます。少しでも心のふれ合い

の場ができましたことを喜んでおります。これを機会にいつそこの福祉協議会の組織の充実とうるおいの輪を広げてゆきたいと思っております。

収入の部	
1.当初予算額	400,000円
内訳	
善意銀行より	120,000円
廃品回収より	245,000円
社協補助金	35,000円
2.当日バザー収益金	339,290円
3.祝金	22,000円
合計	761,290円
支出の部	
1.諸費用	404,544円
差引残高	356,746円
処理	
善意銀行へ預託	334,746円
各種団体へ謝礼	22,000円

電気工事士試験のお知らせ

昭和五十五年電気工事士試験を次のとおり実施します。

▽試験の方法

筆記試験および技能試験

▽日時

筆記試験：六月二十九日

技能試験：九月十四日

▽場所 県立機山工業高等学校

(甲府市下飯田一丁目九番一号)

▽受験願書受付

昭和五十五年五月六日から

五月九日まで

▽受付場所 県庁県民生活局消

防防災課(甲府市丸の内一

丁目六番一号)

▽提出書類

。受験願書

。履歴書

。写真(願書提出六ヶ月以内に撮影した縦八センチ横六センチのもの)

▽受験手数料 四千元

なお、筆記試験が免除されて

おり、技能試験だけを受験する

方も、この期間中に申込んでく

ださい。

▽受験案内、受験手続きに必要な用紙類は、県庁消防防災課に

準備してあります。詳しくは、

県庁消防防災課(電話〇五五二

一三七一―一内線五一四)ま

で問合せください。

(県民生活局 消防防災課)

海外協力隊員募集

青年海外協力隊では、開発途上にある国々に役立つ、技術や技能をもった隊員を募集しています。

▽応募資格 二十歳～三十五歳

までの青年男女

▽募集期間 四月十五日～五月

三十一日

▽一次試験 七月六日

▽二次試験 八月四日～九日

▽募集説明会 五月十日(土) 午

後二時より(山梨県ポラント

イアセンター)

※募集要項(願書等の問い合わせ

先、山梨県庁総務課外事担当

電話―甲府(37)二二二内線三三八

高血圧症で悩む人 台所をあずかる主婦を対象に

高血圧教室

いろいろな病気を併発する高血圧症、これを原因に発生する脳卒中や心臓、腎臓病での死亡率も年々高まっています。これら成人病を防ぐには、食生活、日常生活などでの本人の心構えがもっとも大切です。

つい先頃、高血圧症で悩んでいる方や台所をあずかる主婦などを対象に、中央公民館において高血圧教室が開催されました。食生活についての減塩食をは

じめ、栄養のバランス、肥満やコレステロールについて町保健婦の講義、また森川医師による「血圧の正しい知識と正しい治療」の講義が行われましたが、三十名余りの参加者は、自分の体験や病気についてわからないことなどを活発に質問するなど、熱心な勉強会が行われました。昼食には、栄養改善推進員のご協力をいただき、減塩食を食べ塩加減を味わいました。

小島保健婦の講義を熱心に聞き入る受講生（中央公民館にて）



なお、この高血圧教室は、今年度も九月と二月に予定されていますので、おおいに参加下さい。

ゴルフ部創立記念大会

5月25日 敷島カントリー

今回、町体協のはからいで、体協の中にゴルフ部を設けていただくことになりました。これを機に、今それぞれの地域あるいは職場においてコンペが行われているようですが、こうした人達が一

堂に会し、日頃の腕を競いあつていただくよう町全体の大会を計画致し

ましたのでふるって参加下さい。

大会実施要項

- 実施日 五月二十五日
- 場所 敷島カントリークラブ
- 集合場所 午前八時 現地
- 競技方法 十八ホールズ、ストロークプレー
- ハンディキャップ 新ペリア方式（初心者、女性歓迎）
- 参加費用 一人（二千円）

但し、欠席の場合は没収でグリーンフィー他は個人負担。参加申込みは、五月十日までに部落役員さんに、新田部落においては教育委員会事務局まで

申込み下さい。なお、定員数に達した場合は打切らせていただくこともありますので、早めに申込み下さい。

各部落役員

- 深川 謹一（四〇五三（一区））
- 柳井 口孝裕（二五四五（二区））
- 保坂 敏弥（二〇五五（清水））
- 内藤 英男（二二五四（押越））
- 柳田 中一（二八三六（中島））
- 原 勝仁（二三八五（阿原））
- 松岡 格（二七四五（築地））
- 柳小沢 弘（二九〇七（飯喰））
- 今村 大和（二五八八（河西））
- 武井 章（二五五一（上河東））

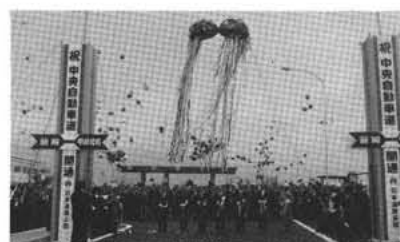
中央道昭和

葦崎間供用開始

三月二十六日開通式

中央高速自動車道一甲府昭和葦崎間十一・二kmの開通式が、三月二十六日午前十時より甲府昭和インターチェンジ内で行われました。式典には関係者多数が出席し、本県の躍進を担い八年間の歳月をかけ完成した中央道の開通を祝いました。祝賀式に引続いて料金所前で鉄入れ式、河口甲府市長、石原町長らの手によって久寿玉が開かれると同時に、花火が打ち上げられ、風船が大空高く舞い上がり感激の開通祝賀式が終了しました。

式典終了後には、日本道路公団のパトロール車を先頭に初乗りのパレードが行われ、午後三時から一般に供用開始されました。



各関係機関代表者の手で久寿玉が割られテープカットが行われる（甲府昭和インターにて）

三百二億円の事業費をかけた成した甲府昭和葦崎間ですが、これから残る昭和勝沼間二十三・一kmも五十七年全線開通に向け、急ピッチで工事が進められていきます。

交通安全の造花を

プレゼント

昭和町女性ドライバーの会（河野美子会長）は、交通安全を祈願した手製の造花を作成し、役場の職員や小学校入学児童にプレゼントしました。

四月一日、お父さんお母さんに連立って入学式に参列した新入生百五十一名の児童には、役員の河野、高野、窪田さんの三名が、一人一人の小さな胸に取り付けを行い交通安全の呼びかけをしました。

絵画部員募集

昭和町文化協会絵画部では新部員を募集しております。

入部希望の方は、文化協会事務局（電話三七三七）まで申込んで下さい。

なお、毎月第二、第四土曜日の夜七時三十分より、中央公民館において部会を行っております。

探究

町内

熊野信仰と由緒ある
上河東熊野神社

郷土研究部長 雨宮 侑 弒



水神として歴史も古い上河東熊野神社

昭和町は古くは釜無川の氾濫により、開墾した田畑等を何回か流され、時には尊い人命をも奪いさるので、人々は何よりも洪水を恐れた。この地の安泰をひたすら神威にすがって守らねばならぬ為、非常に信仰心が強く鎮守として神々を水上や重要な場所に祭った。

和歌山県熊野にある熊野神社は、本宮（熊野座神社）新宮（熊野速玉神社）那智（熊野那智神社）の三社の総称で、また熊野三所権現ともい、全国至る所に分布されている熊野社の総本社である。熊野信仰は平安中期から上皇を中心とする皇室、公家が盛んに参詣し、鎌倉時代以後武士や庶民にも普及し、熊野信仰は全国に及び一世を風靡するようになった。

当町の熊野神社は上河東田の神田、飯喰屋敷添、河東中島村西（熊の宮より遷座）にあり、三社共祭神は伊弉册尊、天神の勅命をうけ神をはじめ国土などを産み出した女神、事解男尊、物事を一言で解決する神、素戔嗚尊の別名との説がある。速玉男尊、約束ごとを保証する神、の三神を祭つてある。当地は甲斐源氏の臣加藤兵衛景正の子孫が居を構えた加藤の郷で、上河東の神社は領主加藤氏の産宮と伝えられている。従つて加藤の

郷八ヶ村（上河東、下河東、町之田、河東中島、井の口、飯喰、築地新居、玉川）の総鎮守であった。その当時の祭典当日には神輿の渡郷の神事が行なわれた。神輿は久しく拝殿に保存されてあつたが現在は中央公民館に保存されている。神輿の渡郷の道が下河東熊野神社の西側に農道として残っていると、土地の古老が教えてくれた。当社の御神木として目通り周囲四メートル樹齡推定四百年以上の杉の巨樹があつたが、三十四年の台風により倒れ現在は根の一部がその巨木の姿を偲ばせるに過ぎない。甲斐国志により上河東熊野神社の由緒をみるに「黒印神領四石三斗四升四合内六百六十坪屋敷分、社地五百十坪（現在四百六十五坪と云う）社記ニ云フ遷座不詳、中古領主加藤氏産宮ト称シ、圭田（縁外を賜はりその収穫を祭祀に供する田）若干寄入シ、年中数度ノ祭礼アリテ、加藤ノ郷八村（前記）ノ総鎮守ナリキ、今ハ九月十九日神輿ニテ下河東、町ノ田へ幸シ、下河東熊ノ宮ニテ中食シ、ソレヨリ井ノ口、河東中島ニ幸シテ還御ス、諸村ニ輿掛場十二箇所アリト云ヘリ、天正十九年九月二十四日（一五九一年）加藤平兵衛ノ尉諸役免許ノ黒印（奉行が判

を押して出す公文書のこと）西郡筋下宮地村三輪明神ト一紙也同年十二月十五日光泰（加藤光泰）ノ判物（書判のある文書のこと）慶長八年（一六〇三年）四奉行ノ黒印、同十五年戊卯月十六日神領引渡証文、桜井安芸守、小田切大隅守ノ黒印等府中八幡宮神主家三藏ム、四奉行ノ黒印とは同じく甲斐国志によつてみると「四奉行桜井安芸守信忠、石原四郎右衛門昌明、小田切大隅守茂富、跡部九郎右衛門昌忠、四人ノ者慶長七寅二月朔日郷中ニ提書ヲ出ス、同八卯三月朔日寺社領ヲ改督シ花押ノ証文ヲ授ク、後世称之云、四奉行黒印、御朱印ニ次相重ンズ」と説明してある。

以上のように由緒ある神社でありますから、参道が未舗装で参詣に難渋する日もあると思ひますが、出来る限り参詣するよう心掛けたと思ひます。

最近、この三区の三社を参詣しましたが、境内が非常に清掃されていて、区民の敬神の念の強いことの現われと思ひ、又、境内等が子供クラブの運動場に利用され、健全なる精神と体力の向上に役立っている。河東中島にては遊園地が隣接し区民一同の利用の場となっております。

以上

町／民／俳／句

染めあげし 布の眩しく花菜風
清水 博文
チビツ子の 軍団出陣 春祭
丸山 喜玉
春暁に音して厨に 灯のともる
井上まさ江
点々と残り菜花を 咲かせおり
内藤ふく次
子を呼べば 菜の花揺れて
こたえけり
清水 年江
花便り 浮かるる程の若さなく
桑原 丑寅
この味に 馴染みいくとせ
若布汁
菜の花も 手向けん母の命日に
河田 好子
お下げ髪 ホップステップ花菜
道
香煙の 畑まで臭う 春彼岸
上田 栄月
脚立の脚 しかと据え四温の日
磯部 信与
菜の花の こぼれて雨後の
畑をうつ
人褒めて 心のゆとり春菜時く
長田その子
興石さぶ代

—— 春期ポリオ生ワクチン投与実施 ——

実施日時 5月8日(木) 午後1時～2時(受付)
 場 所 中央公民館
 該 当 児 昭和54年8月1日～昭和55年1月31日までの出生児。(第1回目)
 昭和52年2月1日～昭和54年7月31日までの出生児。(第2回目)
 昭和51年2月1日～昭和52年1月31日までの出生児。(追加)
 昭和50年2月1日～昭和51年1月31日までの出生児で第1回目を投与済の者。

携 行 品 母子健康手帳、問診票

◎ なお、当日体調が悪く投与出来なかった方は、16日(金)に追加投与を行います。

—— 乳 児 健 康 相 談 ——

実施日	受付時間	該 当 児	場 所
5月28日(木)	午後1時30分～2時	3・6ヶ月児	中央公民館
5月29日(木)	〃 〃	9・12ヶ月児	

携 行 品 母子健康手帳

—— 3種混合予防接種(第1期3回目) ——

実施日時 5月7日(木) 午後1時～2時(受付)
 場 所 中央公民館
 該 当 児 昭和52年7月1日～昭和53年2月28日までの出生児。
 昭和51年7月1日～昭和52年6月30日までの出生児で前回未接種の人。(追加)

携 行 品 母子健康手帳、問診票

—— 1 歳 6 ヶ 月 児 健 康 相 談 ——

実施日時 5月13日(火) 午後1時30分(受付)
 場 所 中央公民館
 該 当 児 昭和53年9月1日～昭和53年11月30日までの出生児。

携 行 品 母子健康手帳

—— 5 歳 児 健 康 相 談 ——

実施日時 5月20日(火) 午後1時30分(受付)
 場 所 中央公民館
 該 当 児 昭和50年1月1日～昭和50年3月31日までの出生児。

携 行 品 母子健康手帳

保 健 だ よ り

—— 不用犬収集日 ——

日 程 5月2日(金)
 場 所 役場前
 時 間 午前10時
 ※収集車がくるまで必ず犬をつれて飼主もいっしょにいるようお願いいたします。

可燃物・不燃物収集日

※当日午前8時30分までに指定場所へ

内 容	日	程	曜 日
もえる物	5月1日	全 地 区	木
〃	6日	〃	火
ガラス類	7日	〃	水
もえる物	8日	〃	木
〃	12日	〃	月
〃	15日	〃	木
金属類	16日	押原・常永	金
もえる物	19日	全 地 区	月
金属類	21日	西条地区	水
もえる物	22日	全 地 区	木
〃	26日	〃	月
〃	29日	〃	木

おめでとう

昭和五十五年二月十二日以降

婚 姻

大塚 君江	山丸 八十一	久保 信子	一瀬 真知子	角野 賢造	氏 名
上 河 東	西 条 二 区	西 条 二 区	西 条 二 区	住 所	

出生

大前 香織	木島 剛	高野 光朗	若尾 敏文	中楯 幸二	山田 秀美	葉袋 亜矢	池田 美晴	山田 和明	片田 育子	志村 千春	雨宮 良樹	岡本 直子	氏 名
仁 志	一 夫	清 治	敏 彦	博 明	秀 才	重 春	美 繁	和 三	育 晃	千 正	良 清	直 己	父 の 名
西 条 新 田	西 条 二 区	西 条 二 区	西 条 二 区	西 条 二 区	押 原 越 東	上 河 東	清 水 新 居	西 条 一 区	西 条 一 区	西 条 一 区	河 東 中 島	押 原 越 東	住 所